

平成 23 年 9 月 7 日  
消 防 庁

## 「平成 23 年度救助技術の高度化等検討会」の開催

東海地震、東海・東南海地震等の大規模地震災害が発生した場合、広い範囲にわたって、大小様々な建物の倒壊、崩落することが予見され、地元の消防機関及び消防団はもとより、全国各地から駆けつける緊急消防援助隊など、多くの部隊が連携して大規模な救助活動等が展開されることとなります。

一方、現在、先駆的な消防本部においては、大規模耐火建物倒壊／座屈現場における活動要領を作成し、運用しておりますが、全ての消防本部でその内容が共通化・共有化されているとは言えません。

このことから、本検討会では、過去 3 年間にわたって検討してきた瓦礫救助についての技術を活用することを前提として、我が国での大規模耐火建物倒壊／座屈現場における、救助隊、指揮隊、ポンプ隊、救急隊、消防団等の部隊運用や警察、医療機関、建設業者等関係機関との連携活動のあり方について検討し、『指針』として取りまとめることで、各消防本部における活動基準の作成や内容の共通化に資するものです。

なお、当検討結果は、報告書として今年度中に発表する予定です。

- 1 検討のテーマ 「大規模耐火建物倒壊／座屈現場での救助活動（運用）」
- 2 委員名簿 別紙のとおり
- 3 第 1 回開催日 平成 23 年 9 月 16 日（金）
- 4 参考資料（本検討テーマの前提となる過去 3 年間の検討会報告書）  
平成 20 年度 : 災害現場における倒壊建物等の安定化技術（ショアリング）について  
平成 21 年度 : 木造軸組構法に対するショアリングについて  
平成 22 年度 : 座屈耐火建物等における救助活動について（技術）



## &lt;連絡先&gt;

消防庁国民保護・防災部参事官付  
松永補佐 小宮係長 中山事務官  
電話 03-5253-7507  
FAX 03-5253-7576

## 平成23年度救助技術の高度化等検討会委員名簿

(敬称略：五十音順)

### 【委員】

- ・天野 久徳 (消防庁消防研究センター地域連携企画担当部長)
- ・小濱 本一 (全国モーターボート競争施行者協議会専務理事)
- ・加賀谷 敦己 (全国消防長会事業企画課長)
- ・草場 秀幸 (在日米海軍統合消防局佐世保署崎辺(第12)分署崎辺小隊小隊長)
- ・後藤 利憲 (名古屋市消防局消防部特別消防隊長)
- ・関 文夫 (日本大学理工学部土木工学科教授)
- ・高嶋 敏 (川崎市消防局警防部担当部長)
- ・月成 幸治 (北九州市消防局警防部警防課長)
- ・中島 康 (東京都立広尾病院救命救急センター・外科救急診療科医長)
- ・松井 晶範 (東京消防庁警防部救助課長)
- ・吉村 晶子 (京都大学大学院工学研究科安寧の都市ユニット特定研究員)

### 【オブザーバー】

- ・井上 元次 (消防庁消防・救急課長補佐)
- ・萱津 雅弘 (消防庁国民保護・防災部防災課応急対策室課長補佐)
- ・谷本 裕幸 (消防庁消防・救急課救急企画室課長補佐)

### 【事務局】

消防庁国民保護・防災部参事官付